

(令和元年度)
学校自己評価書

園番号	園名
635	大安寺西幼稚園

635大安寺西幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	・教育ビジョンを作成し、職員間で教育目標の共通理解すると共に、保護者への周知と伝達を行う。 ・「奈良市立こども園カリキュラム」について教職員間で共通理解する。	・年度当初、園長が園児・地域・幼稚園の特性を配慮した経営方針・教育ビジョンを打ち出し、教育目標を達成するための基本を全職員で確認し、共通理解のもとで進め、おおむね達成できた。 ・実践事例を取ることで、「奈良市立こども園カリキュラム」に基づいて自分の保育を振り返る機会となった。	A	・園評価アンケートを実施し、保護者からはこう評価をもらった。園評価をもとに改善点を洗い出し次年度につなげた。 ・「奈良市立こども園カリキュラム」活用し、具体的な保育を進めていった。	・園日より・クラス日より・ホームページ等を活用し、園教育について発信し、理解を深めてきたが、今後も引き続き、発信する機会を持っていきたい。
		② 教育計画の作成			A		
		③ 教育課程の編成			A		
		④ 教育活動の評価			A		
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	・「奈良市立こども園カリキュラム」に基づいて自園の指導計画の見直しをする。 ・研究保育を行い、指導法の工夫改善を図る。 ・遊びが豊かになるよう環境構成や援助の在り方を探る。	研究主題に「ドキドキ・わくわく心を動かし夢中になって活動する幼児をめざして」と設定し議論し進めたことで、職員が一つになり成果につながった。 ・他園の公開保育に参加し、園内研究会を行い、環境構成や援助について研修を重ねることで職員間の思いをひとつにしていった。 ・実践事例を取り、研修に参加することで期	A	・戸外で体を動かす遊びが多くなったことは保護者に高評価をいただき、運動会や生活発表会の姿を通して成果を示すことができた。 ・「奈良市立こども園カリキュラム」を基に職員間で保育について振り返り、子どもの理解を深め、その期にそった環境や援助の工夫をし	・幼児の発達や特性に応じた指導計画や教育環境の見直しを行い、保育の創意工夫を図っていきたい。 ・保育教育士の資質向上に向け、園内研究会や研修会を計画的、定期的実施する。
		② 保育内容の精選			A		
		③ 指導方法の工夫改善			B		
		④ 評価			B		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	・特色ある園行事の実施 ・保護者、地域の方の協力による活動の充実 身近で働く人々に関心と親しみを持つとともに感謝の気持ちを持つ。	・幼児の普段の生活に変化や潤いを与え、主体的に楽しく活動できるように取り組んだ。幼児は行事を楽しみにし、喜んで参加した。 ・保護者・地域・小学校・中学校の協力を得ながら園行事を進めた。 ・地域の方々との触れ合いは、優しさや温かさに触れることができた皆さんの賞賛は子どもたちの	A	・遊具、施設設備の点検を強化し事故の未然防止に努める。	・地域行事に積極的に参加したことで、園教育に理解を深めていただくことができ、協体制が構築できた。次年度は子ども的人数に見合った地域の方とのかかわりを考えていきたい。 ・近隣の幼稚園や保育園との交流の機会を大事にしていきたい。
		② 行事内容の精選			A		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	・遊びの中で様々な人と関わり自己を発揮したり、相手の思いなどに気付く。 ・飼育栽培を通して、勤労の喜びや生命を大切にすることを育てる。	・教師自らの人権感覚を磨き、一人一人を大切に学級経営を行うようにし、子どもたちは日々の生活や遊びの中で自分も相手も大切にしようとする気持ちが育まれるようにした。 ・異年齢交流等の取組の中で、あこがれや思いやりや優しさが育っている。	A	・機会あるごとにクラスの問題として取り上げ、相手のことを考えたり自分の思いを伝えられる機会を大切にしたい。 ・クラスの問題を職員間で出し合い、小さなことも園の問題として考え話し合うようにした	・職員の人権感覚を磨き一人一人を大切に、子どもに寄り添い、自己肯定感を持てるように導いた。 ・保護者にも幼児期の人権教育について伝える機会を作り、家庭と園の連携を深めるようにする。
		② 保育内容の精選			A		
		③ 指導方法の工夫改善			B		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	・各学級の実態を出し合い、指導の手だてを職員で共通理解して取り組む。 ・保護者・地域関係機関との連携を密にする。	・幼稚園生活のすべてが子どもの人権保障をめざすのだと共通認識をした。 ・事象をクラスや園児のものとして捉えるのではなく、園全体のこととして取組を進めた。 ・互いに認め合い、共に喜び合うことのできる仲間づくりを行い、関係機関とも交流した。	B	・被虐待児童実務者研修会に積極的参加し意識を高めた。 ・毎月、市こども園推進課に該当児の様子を報告することで、関係機関との連携が確立されている。また、情報も速く入り、迅速な対応をしてくださっている。	・一人一人を大切に、質の高い仲間づくりをめざした日々の積み重ねを更に継続したい。
		② 教育相談・幼児理解			A		
		③ 家庭との連携			A		
		④ 関係諸機関との連携			B		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	・対処方針や指導計画が明確である	A		
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている	・日頃より実態把握・早期発見に努めている	A		
			・各学級の状況を園組織として共有できている	・各学級の状況を園組織として共有できている	A		
			・保護者や地域と連携できている	・保護者や地域と連携できている	A		
	・組織的に迅速に対応する体制が整備されている	・組織的に迅速に対応する体制が整備されている	A				
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	・全職員で幼児について共通理解を図る。 ・個に応じた支援の在り方を研修する。 ・関係機関との連携を密にする。	・インクルーシブ教育の理念を活かし、共に育ちあう学級経営を充実させた。 ・研修会の参加等を通じて、専門的知識と特性に応じた指導法を習得し、幼児の指導にいかした。幼児はそれぞれの個性を発揮して活動している。 ・保護者、関係機関、入学する小学校との連携に努めた。	A	・担任と特別支援教育支援員が連携し個に応じた指導を行った。 ・専門機関との定期的な連携をし、支援を得た。 ・小学校との連携を強化した。	・担任、預かり、支援担当者との共通理解の場を常に意識しながら取り組んだがそこに保護者との信頼関係も深め取り組んでいきたい。 ・特別支援を必要とする幼児の多様な見取りと対応のあり方の研修を来年度も深める。 ・保護者や専門機関との連携を密にする。
		② 個々に応じた特別支援教育の内容			A		
③ 指導方法の工夫改善		B					
④ 家庭との連携		A					
⑤ 関係機関との連携		A					

(令和元年度)
学校自己評価書

園番号	園名
635	大安寺西幼稚園

635大安寺西幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者・地域に信頼される幼稚園」をめざし幼稚園経営を柔軟に行う。 園の方針を職員が共通理解し、学級経営にいかす。 職員会議などを計画的に実施し、行事などの共通理解を図る。 積極的な園運営を進める上で、公務分掌を分担し運営にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員に教育ビジョンを伝え、教職員の意識改革を指導し、幼稚園経営を行った。 学級経営案や毎月の指導計画を立て職員間で共通理解をしながら熱心に保育に取り組んだ。 職員数が減り事務分掌の負担が大きくなっているが、支えあい助け合い取り組むことができた。 各学年1名の保育士で不安にならないよう園長、副園長も一員として相談、運営に加わった。 少人数なので会議を独立することが難しく、場所を変えたり時間を短縮したり工夫をし、互いに意見が言えるようになってきた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者・地域に信頼される幼稚園」をめざして取組んだことについて、保護者による園評価や学校関係者評価においてはおおむね高い評価を得ることができた。 職員が問題意識を持ったり、課題に向き合いながら、園運営に積極的に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の保育を見直しながら職員同士でアドバイスできる環境を作る。 園評価の課題を基に次年度の計画・実践をしていきたい。 職員会議等で率直な意見を出し合えるよう企画・運営の方法を考える。
		② 園経営目標・方針			A		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			A		
		④ 園務分掌等の連携			A		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			B		
		⑥ 会議の結果			A		
		⑦ 職場の人間関係			A		
		⑧ 園評価の実施			A		
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 園課題に沿った研修体制を充実させ、園内研修会を実施 1期～5期の自分の保育の実践事例を書く。 園外研修会に積極的参加し、研修で得た成果を実践に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 「奈良市立こども園カリキュラム」についての研修を重ね、園の指導計画の見直しをするようにした。 研究主題に沿った園内研究会を実施した。 実践事例をとり自分の保育の振り返りをした。 えんの課題を職員間で話し合い、学年を超えて、協力して取り組んだ。 職員数減の現状だが支えあい各種研修会に積極的に参加できるよう心がけたが園内行事等で難しかった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内で保育の振り返りをしたり、意見交換をしたりしながら幼児理解や指導方法の向上に努めた。 他園での公開保育や研修会に参加しそれをみんなで共通理解するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育の質の向上をめざし「奈良市立こども園カリキュラム」をもとに研修を深め、実践事例を取ることができるようになる。 課題意識をもって主体的に研修に取り組めるようにしていく。 職員一人一人の指導力が向上するように園内研修の充実を望む。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A		
		③ 園外の研修への積極的参加			A		
		④ 園外研修内容の報告や伝達			A		
		⑤ 研修成果の普及			B		
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域に安全管理についての取組を知らせ理解と協力を得ながら、状況に応じて適切な対応をとる。 関係機関との連携を密にする。 「子ども安全の家」の周知。 	<ul style="list-style-type: none"> 門扉の施錠など保護者との連携を深め園児の安全に努めた。 毎月計画的に避難訓練を実施し、安全に対する意識が高まった。 地域内の「子ども安全の家」を知らせ、園児や保護者の意識を高めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園児や保護者の安全確保のため送迎時には通用門付近で見守る。 門扉の確実な施錠などみんなが気を付け管理できるようにした。 火災・地震・不審者対応の避難訓練を実施し、指導を行った。 安全の日の一斉降園の立哨指導は、保護者の意識を高めることに役 	<ul style="list-style-type: none"> 常に危機管理意識をもち、今後も幼児の安全確保に努め、幼児自身も自分の身を守る大切さを意識できるよう指導していきたい。 子どもたちを守るための、地域の大きな働きや力を保護者にも啓発していく。
		② 防災計画の立案			A		
		③ 危機管理体制の整備			B		
		④ 安全指導の工夫改善			A		
		⑤ 家庭との連携			A		
		⑥ 関係機関との連携			A		
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の健康観察を丁寧に言い、健康管理に努めると共に、基本的な生活習慣の自立に向け個に応じた指導を行う。 昼食時の机や手指の消毒の徹底 薬剤師による水質検査・照度検査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で起こるけがや病気、健康診断、毎月の体重測定など様々な機会をとらえて健康管理に対する指導を行った。うがい・手洗い・手指消毒 歯みがきなど忘れずに行い、習慣となっている。 梅雨期や夏期の弁当の低温保管、湯茶の煮沸の徹底を図り衛生管理に努めた。 栽培活動を充実させ、園で収穫した野菜や果物を家庭にも持ち帰り、家族で楽しんでもらった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがいの必要性を子どもたちに伝え、徹底した。 縄跳びや雑巾かけなど体を使った遊びを日々取り入れるなど体力づくりに取り組んだ 畑づくりを地域の方と一緒にし、菜園活動でできた野菜を食べることで食育にもつながった 	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生への関心を高める啓発活動を充実させる。 今後も保護者と共に、幼児の健康に留意しながら、健康でたくましい心と体を育む保育内容を展開していきたい。 地域の方を巻き込み、楽しく食育を取り入れていきたい。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備			A		
		③ 健康観察、健康管理能力の育成			A		
		④ 関係機関との連携			A		
		⑤ 昼食の衛生管理			A		
	(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 「地域と共にある幼稚園」を目指し、地域の方々に広く園の取組を公開 地域行事に職員・園児が積極的参加 未就園児保育の充実 小学校との連携を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 園だより、広報紙、ホームページを活用し、積極的に園情報を発信したり地域の会合で園の教育推進について知らせたことで、地域の方の園教育への理解が深まった。 未就園児保育の内容を充実させた。 「地域で決める学校予算事業」の効果的な活用により、様々な体験ができ、たくさんの方々と触れ合うことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に園児も積極的に参加し育ちの姿を見ていただいたことが、地域の方々が園に思いを寄せてくださった様になった。 小学校との連携を密にし、学びをつなげられる様、互いの教育・保育を知り合うよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の教育力をつけられるよう努力したい。 近隣の幼稚園や保育園との交流を計画したい。 小学校との連携を更に密にし、教師同士の話し合いなどの交流や、園児が授業に参加しての交流などが出来たらと思う。
		② 園(保育)公開			B		
		③ 小学校との接続・連携			A		
		④ こ幼保との連携			B		
⑤ P T Aの活性化		A					
⑥ 地域教育協議会との連携		A					
⑦ 学校関係者評価の実施		A					
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 保育環境の整備 施設設備の点検を行い、危険個所の把握と改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 門のペンキの塗り替えや木の伐採などをしていただいた。フェンスの壊れた個所の修理は依頼中である。 保育室の環境を見直しLDIに取り替えていただいたり、換気扇など環境美化に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 遊具、施設設備の点検を強化し事故の未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ不十分であるので引き続き関係機関に洋式トイレの充実など要望していく。 安全面に配慮し事故防止に努める。 	
	② 施設設備の有効利用			A			
	③ 施設設備の管理			B			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> 公文書の整理と保管 個人情報保護の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 公文書を整理し、適切に保管を行った。 個人情報保護専用のロッカーを設置し、保護の管理を強めた。 個人情報セキュリティ研修会に積極的に参加し体制づくりに努めた。 写真などDVDに保存する際はパスワードをかけての保存をするよう徹底した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 機会あるごとに情報セキュリティについて研修を重ね、守ることの大切さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の情報管理の点検、体制の充実を図る。 	
	② 公文書の作成			A			
	③ 個人情報の管理・保護			A			
	④ 情報の収集			B			